

# 「逸品」ものづくり経営塾（略称：逸品塾）

## 第Ⅳ期 参加企業募集

2010年8月

概要を示した資料もあわせてご覧ください

2007年に開塾し、3年間の活動を通じて、大きな成果を上げてきた「逸品塾」。  
その第Ⅳ期参加企業を募集します。

### <開催趣旨>



高品質、高機能、短い開発期間、低コスト、そして十分な環境配慮のある新製品を開発することは、企業にとっての最重要課題の一つです。日本企業は、このような「見果てぬ夢」とも思える製品開発に成功しました。それを支える仕組みには、原価企画、開発購買、各種の品質管理イニシャティブ、サステナビリティ管理、企業間関係マネジメント、多品種少量生産システム、JIT生産システム、セル生産システムなどがあります。このような優れたシステムの開発に成功した日本企業ですが、バブル経済崩壊後の「失われた20年」と呼ばれるようになりはじめている今日にいたるまで、付和雷同的な横並び行動、目先のコスト削減、安直なアメリカン・スタンダードへの追随等を行った結果、せっかく構築したシ

ステムやノウハウの多くを忘れてしまったようです。そして、深刻な品質問題、敵対的な企業間関係、収益性の悪化、欧米先進国での売り上げ不振、短視眼的なコスト低減、消費者の気まぐれに振り回される製品開発、法令違反、非倫理的な行動、人材育成への配慮の欠如、優れた技能の消失等を引き起こしています。また、リーマンショックによって引き金が引かれた世界的同時不況から抜け出せずにいる現在、問題の本質を見極めることなく、風評に影響された錯誤と迷走を再び繰り返そうとしています。

今こそ、直面している問題の構造を解明し、本当に強い新製品開発マネジメントのあり方を模索し、実践を通じて磨きをかける必要があると言えるでしょう。それができなければ、日本は再びものづくり大国の地位に返り咲くことはできないかもしれません。ナンバーワンになるためには、ものづくりに関する知識のみならず、優れた経営戦略、製品開発リーダーの育成方法、組織問題の解決方法、製品開発に携わる人々の能力向上、顧客の声の収集方法とその製品開発への反映法、組織間協働システム、チームマネジメント、MOT (Management of Technology)、各種関連法令、BRICsを含むグローバル対応、技能の伝承、IT (Information Technology)、事業の仕組み (ビジネスシステム)、マーケティング革新、リスク管理、CSR (Corporate Social Responsibility)、IFRS (International Financial Reporting Systems) など広範な知識とそれらを統合して活用・運用できる能力が必要です。

本塾では、上記のような問題意識に基づき、世界一の新製品開発マネジメントのあり方を探るとともに、実践を通じて、自社の業績向上につなげることに真剣に取り組もうとしている企業のみみなさんにご参集いただきたいと考えております。製品だけでなく、サービス・物流・ソフトウェア開発なども検討の対象に含みます。

## 主催 NPO法人現代経営学研究所

### 主宰者プロフィール

加登 豊(かと ゆたか) 1953年生まれ

- 神戸大学大学院経営学研究科教授、博士(経営学)
- 元研究科長(学部長) ○日本原価計算研究学会常任理事(元会長)
- 日本管理会計学会常務理事(元副会長) ○日本会計研究学会評議員
- 海外学術雑誌編集委員(2誌) ○元公認会計士試験問題作成委員
- バンドー化学株式会社社外取締役 ○上場企業独立委員会委員
- 池田泉州銀行「目利き委員」

その他プロフィールの詳細は、HPを参照してください

<http://kato-lab.jp/> twitter : @YutakaKato

### 後援組織

神戸大学大学院経営学研究科

一般公益法人高等経営研究所

台湾政治大学知財研究センター

(Taiwan Intellectual Capital Center, National Chengchi University)

### 協力

東京大学ものづくり経営研究センター長 藤本隆宏(東京大学教授)

京都大学経営管理大学院長(元) 成生達彦(京都大学教授)

慶應義塾大学ビジネス・スクール校長 河野宏和(慶應義塾大学教授)

台湾政治大学知財研究センター長 Anne Wu (Professor, National Chengchi University)



## ◆「逸品塾」はどのように運営されるのか

全員参加の全体会議とテーマ別の実践力向上プロジェクトを結合し、新製品開発力の劇的向上、売上の増大、コスト低減、生産性の向上、国際競争力の強化、高品質の維持向上等を目指します。本塾は、座学の場ではありません。コスト低減、品質向上、競争優位性の維持・向上、先進の環境配慮、すぐれた経営戦略に導かれた製品開発、続々と人材を輩出する仕組み、適切な顧客ニーズの把握等に関して、ベンチマーキング手法(異業種の優れたビジネスシステムから学ぶ体系的知識創造技法)と相互研鑽を通じて劇的な成果(売上高、利益総額、利益率、コスト低減、組織活性化、すぐれた人材育成、真のグローバル対応)を獲得する実践の場なのです。

## ◆「逸品塾」参加資格

本塾の活動に関心がある方。ただし、新製品開発の単なる関与者ではなく、ものづくりシステムを真摯に検討し、新しい仕組みを実践できる権限が与えられている方が少なくとも1名はご参加ください。1社(組織)からは2名まで参加できます。申し込み時に、参加者の事前登録を行っていただきます。全体会議への代理出席は可能ですが、実践力向上プロジェクトへの代理出席はできません。異なる部署から2名が参加することが望ましい(3名以上の参加を希望される場合は、お問い合わせください)。実践力向上プロジェクト(J)への参加については、情報提供企業の意向を尊重する関係上、ご希望に添えないことがあります。実践力向上プロジェクト(K)への参加は保証します。実践力向上プロジェクト(J)への参加にあたっては、情報提供企業との間で、秘密保持契約を締結していただきます。

## 第Ⅵ期「逸品塾」の概要

### ●第Ⅵ期 全体会議講演者予定

**第1回** 2010年10月29日(金) 場所: 神戸大学

梶原奈美子氏(キリンビール株式会社 マーケティング部 商品開発研究所 新商品開発グループ)

「開発事例紹介～世界初、アルコール0.00%のキリンフリー～」

(このセッションは、オープン全体会議として実施します。逸品塾参加企業以外のみなさんも参加できます。  
また、参加企業から、2名を超える参加も可能です。詳細は、事務局にお問い合わせください。)

**第2回** 2010年11月28日(日) 場所: 出光佐三記念神戸大学六甲台講堂

福井澄郎氏(関西テレビ放送 代表取締役社長)

三矢 裕氏(神戸大学大学院経営学研究科 教授)

藏本一也氏(神戸大学大学院経営学研究科 准教授)

滝田 章氏(社団法人消費者問題専門家会議 理事長)

石井淳藏氏(流通科学大学 学長・教授)

「グッド・レピュテーション企業の条件」

(このセッションは、NPO法人現代経営学研究所シンポジウムとして実施します。)

**第3回** 2010年12月5日(日) 場所: 神戸大学産学連携マネジメントセンター(梅田茶屋町)

加登 豊

「企業研修の最前線: 連ドラ型プログラムのすすめ」

(このセッションは、NPO法人現代経営学研究所シンポジウムとして実施します。)

### ●第4回以降の講演予定者

赤松 彰氏(アスコ・アジアパシフィック 副社長、日本アスコ株式会社 取締役、アスコインド 非常勤取締役)

小川 進氏(神戸大学大学院経営学研究科 教授) 音川和久氏(神戸大学大学院経営学研究科 教授)

松尾 睦氏(神戸大学大学院経営学研究科 教授) 河野宏和氏(慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授) 等

その他、新製品開発マネジメント、マーケティング、組織論、経営戦略、管理会計、品質管理、環境マネジメント、関連法令等、新製品開発マネジメントに関連する国内外の第一線の研究者(東京大学、京都大学、慶應義塾大学等)および国内外の実践者を講師として招聘予定

### ●第4回以降のテーマ(予定)

●BRICs諸国におけるボリューム・ゾーン市場の開拓

●強い現場・強い本社

●地場産業の行方

●生産現場における技術伝承

●IFRSの動向と日本企業

●イノベーションの民主化 等

## ●第Ⅵ期 実践力向上プロジェクト開催予定

今期のプロジェクトとして予定しているのは、下記の二つです。

### プロジェクトJ「ベンチマーキングによる問題解決プロジェクト」

BSC(バランス・スコアカード)を使用して、10年後を目指したビジョンと経営戦略を策定した企業の戦略、成果指標、先行指標の妥当性の検討を、異業種チームによるベンチマーキングを通じて検討します。プロジェクトの詳細説明は、参加企業を対象に、秘密保持契約を締結後、行います。

### プロジェクトK「次世代経営者に必要な能力(ケイパビリティ)開発プロジェクト」

最新の経済・経営現象に関して、主宰者が独自の視点で話題を提供した後、参加メンバーとの意見交換を行います。このプロジェクトは、ダイヤモンド・オンラインに掲載中の「日本を元気にする経営学教室」と連動しています。これまでの掲載記事は、ダイヤモンド・オンラインに登録すると購読できます。

#### 開催場所

全体会議：

神戸大学六甲台キャンパス、神戸大学産学連携マネジメントセンター(梅田茶屋町)、  
出光佐三記念六甲台講堂、大阪凌霜クラブ(梅田)等 (予定)

実践力向上プロジェクト：

全体会議開催場所および同プロジェクト参加企業会議室等 (予定)

#### 参加費

79万円 + 消費税

全体会議は1社あたり、2名まで登録できます。

◎実践力向上プロジェクト(J)の開催頻度は、プロジェクト参加企業の希望に添って行います。  
年間3~4回程度開催予定。

※合宿等、個人負担と考えられるものについては実費個人(企業、組織)負担となります。

◎実践力向上プロジェクト(K)の開催頻度は、年間6回を予定しています。

(参加費は一括納入あるいは、申し込み時に半額、その後半年以内に半額をご入金いただいても結構です。  
既に現代経営学研究所法人賛助会員にご登録の場合は、9万円減額してください。)

#### 振込先

口座名義：特定非営利活動法人 現代経営学研究所(ゲンダイケイエイガクケンキュウシヨ)  
三井住友銀行 大阪本店営業部 普通口座 3489477  
(銀行コード 0009)(支店コード 101)

※振込手数料のご負担をお願いいたします。

#### その他

「逸品ものづくり経営塾」参加企業は、自動的にNPO法人現代経営学研究所の  
法人賛助会員となり、その特典を得ることができます。

同NPO法人の詳細に関しては、ホームページ(<http://www.riam.jp/>)をご覧ください。

## 事務局

### NPO法人現代経営学研究所

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学大学院経営学研究科内

TEL: 078-805-1623 FAX: 078-805-1624

Email: ikegami@riam.jp(担当:池上葉子)

本件に関する問い合わせ先: (事務局あるいは主宰者のいずれかをお願いします)

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学大学院経営学研究科 加登 豊研究室

TEL: 078-803-6922 Email: ykato@kobe-u.ac.jp

( 授業・会議等で研究室在室時間が限られています。メールでのお問い合わせ、  
あるいは事務局へのご連絡のほうが、迅速にご返事を差し上げることができます。 )

## これまでの実績

### ● 主な参加企業 (五十音順)

- ABB株式会社
- ACTUNI株式会社
- NTN株式会社
- 株式会社アイソトープ
- 合資会社オフィスワイ・エス
- オリエント化学工業株式会社
- カルビー株式会社
- 株式会社カワサキプレシジョンマシナリ
- 株式会社かんでんCSフォーラム
- 原子燃料工業株式会社
- 小山株式会社
- 株式会社サンエス
- 株式会社島津製作所
- シャープ株式会社
- 新晃工業株式会社
- ツネイシホールディングス株式会社
- 寺崎電気産業株式会社
- 株式会社中村超硬
- 日本貨物鉄道(JR貨物)株式会社
- バイセン株式会社
- ハウス食品株式会社
- パナソニック株式会社
- パナソニック電工株式会社
- バンドー化学
- 株式会社フジシール
- 株式会社マネジメントリンク
- マルホ株式会社
- ミズノ株式会社

### ● 全体会議講演者 (所属/肩書きは、講演時のものです)

#### 第I期

- 第1回全体会議 [2007年11月8日(木)] 設立記念講演会  
藤本隆宏氏(東京大学教授 東京大学21世紀COEものづくり経営研究 センター長)  
テーマ:「ものづくり論の要諦」
- 第2回全体会議 [2007年12月13日(木)]  
講演者:加護野忠男氏(神戸大学大学院経営学研究科 教授)  
テーマ:「ものづくりの精神」
- 第3回全体会議 [2008年1月10日(木)]  
講演者:國部克彦氏(神戸大学大学院経営学研究科 教授)  
テーマ:「環境に配慮したものづくりと環境管理会計の可能性」

- 第4回全体会議〔2008年3月13日(木)〕  
講演者:青島矢一氏(一橋大学イノベーション研究センター 准教授)  
テーマ:「技術力を価値に変える戦略」
- 第5回全体会議〔2008年4月17日(木)〕  
講演者:太田勝之氏(株式会社シマノ)  
テーマ:「ロバスト設計(品質工学とシックスシグマの視点から)」
- 第6回全体会議〔2008年6月12日(木)〕  
講演者:金井壽宏氏(神戸大学大学院経営学研究科 教授)  
テーマ:「リーダーシップの連鎖とイノベータの皮むける経験」
- 特別会議〔2008年7月7日(月)〕  
話題提供:加登 豊  
テーマ:「品質問題はなぜ繰り返し起こるのか?—10の解決策」
- 第7回全体会議〔2008年8月4日～10日〕 海外研修  
UCLA、武田San Diego、Rohm USA、パナソニック ティファナ工場(メキシコ)等を訪問調査
- 第8回全体会議〔2008年10月10日(金)〕  
講演者:横田絵里氏(慶応義塾大学 教授)  
テーマ:「業績評価と人事報酬制度」

## 第Ⅱ期

- 第1回全体会議〔2008年11月7日(金)〕  
講演者:加登 豊  
テーマ:「日本企業の人材育成を考える」
- 第2回全体会議〔2008年12月5日(金)〕  
ゲスト講演者:高嶋克義氏(神戸大学大学院経営学研究科 教授)  
テーマ:「営業のプロセス革新」
- 第3回全体会議〔2009年1月9日(金)〕  
ゲスト講演者:延岡健太郎氏(一橋大学イノベーション研究センター 教授)  
テーマ:「価値づくりの技術経営」
- 第4回全体会議〔2009年2月5日(木)〕  
ゲスト講演者:吉田栄介氏(慶応義塾大学商学部 准教授)  
テーマ:「製品開発コスト・マネジメントとテンション・マネジメント」
- 第5回全体会議〔2009年3月13日(金)〕  
ゲスト講演者:松尾博文氏(神戸大学大学院経営学研究科 教授)  
テーマ:「サプライチェーン・マネジメントの理論と実践」
- 第6回全体会議〔2009年5月22日(金)〕  
ゲスト講演者:梶原武久氏(神戸大学大学院経営学研究科 准教授)  
テーマ:「品質コストにみる日本の品質管理の現状と課題」
- 第7回全体会議〔2009年7月17日(金)〕  
講演者:加登 豊  
テーマ:「品質国際標準をめぐる諸問題」



## 第Ⅲ期

- 第1回全体会議〔2009年11月13日(金)〕  
講演者:三品和広氏(神戸大学大学院経営学研究科 教授)  
テーマ「競争優位を獲得する立地戦略(グローバル・ポジショニング)」
- 第2回全体会議〔2009年12月11日(金)〕  
講演者:立本博文氏(兵庫県立大学経営学部 准教授)  
テーマ「アーキテクチャ転換と企業戦略」
- 第3回全体会議〔2010年1月22日(金)〕  
講演者:藏本一也氏(株式会社ミズノアパレル代表取締役社長 社団法人消費者関連専門家会議顧問)  
テーマ「消費者の声を活かしたものづくり」
- 特別全体会議〔2010年2月2日(火)〕  
講演者:Professor Luk Van Wassenhove  
テーマ “Closed-Loop Supply Chains:An Overview of Research and Practice”
- 第4回全体会議〔2010年2月19日(木)〕  
講演者:島田智明氏(神戸大学大学院経営学研究科 准教授)  
テーマ「グローバル社会における環境規制と技術革新」
- 第5回全体会議〔2010年3月24日(水)〕  
講演者:原 拓志氏(神戸大学大学院経営学研究科 教授)  
テーマ「戦略的テクノロジーマネジメントの基本論理」
- 実践力向上プロジェクト(第Ⅱ期)最終報告会〔2010年7月6日(火)〕

## ●実践力向上プロジェクト

### 第Ⅰ期

#### プロジェクトA「原価企画システムの総点検(製造業)」

2008年1月にプロジェクトのキックオフ会合が開催され、当初、隔月での開催を予定していましたが、参加企業の取り組み熱意が高まり、毎月開催されることになりました。大型の工業製品を開発製造する企業のプロジェクトですが、食品、輸送業、衣料、ゴム、パッケージなど異業種からの参加者の「斬新な視点」からの助言等が、プロジェクトに大きく貢献しました。プロジェクトの最終報告会を2009年9月に開催しました。

#### プロジェクトB「海外生産における品質の作り込み(製造業)」

プロジェクト対象企業の都合により、実施を見送りました。

#### プロジェクトC「ABC情報に基づく原価低減活動と変革プロセス管理(輸送業)」

2008年3月にプロジェクトのキックオフ会合が開催されました。こちらのプロジェクトにも、異業種のメンバーが参画し、上記と同様の成果が得られました。異業種からの参加者に「シャドー役員会」の肩書きを与え、検討結果は、同社の役員に報告されました。2009年9月に最終報告会を開催しました。

## 第Ⅱ期

### プロジェクトD「SCM・品質管理・管理会計システムの再構築（製造業）」

非常に高い品質レベルにある企業ですが、一部の品質問題は再発を幾度か繰り返しています。SCMやその他の視点から、再発する品質問題の撲滅をこのプロジェクトでの目標とし、あわせて、品質管理の成果を財務的に正確に把握する管理会計システムの構築を目指して実施されました。2009年4月から2010年3月まで、計6回の会合が開催されました。

プロジェクトコーディネータ：三矢 裕氏（神戸大学大学院経営学研究科 教授）

### プロジェクトE「モジュール設計の高度化プロジェクト」

東京大学ものづくり経営研究センター（センター長：藤本隆宏教授）の協力を得て、モジュール設計による競争力強化の方法を産学連携プロジェクトによって実現を目指します。モジュール設計の先端企業の事例分析、競争優位となるための製品アーキテクチャー、モジュール設計の進め方等について、深い洞察を得るためのプログラムです。これまでに、モジュール設計に関する専門家の講演を中心に、プロジェクトを進行させました。最終報告会は、9月16日に開催予定です。

プロジェクトコーディネータ：具 承桓氏（京都産業大学大学院マネジメント研究科・経営学部 准教授  
東京大学ものづくり経営研究センター特任研究員）

### プロジェクトF「品質問題を解決するための「品質管理研修」」

このプロジェクトは、他のプロジェクトとは異なり、最新の品質管理研修プログラム（新たなカリキュラム、新たな教材）を実際に体験していただくプロジェクトです。この研修プログラムは、文部科学省および日本学術振興会から支援を受けた研究成果の一部として作成されたものであり、どの業種にもフィットするプログラムです。品質管理活動の歴史、日本的品質管理の功罪、知識・ノウハウの伝承方法、品質コストマネジメント、品質に関する国際規約、各種の品質管理イニシアティブの融合、品質と他の要素とのトレードオフの解消などについての研修を行いました。また、2009年11月中旬から神戸大学MBAプログラムの一環として開講された「現代経営学応用研究（品質管理）」の聴講もプログラムに組み込まれました。

プロジェクトコーディネータ：加登 豊

## 第Ⅲ期

### プロジェクトG

プロジェクト対象企業の都合により、実施を見送りました。

### プロジェクトH

環境会計の第一人者で、マテリアルフローコスト会計を日本発でISOシリーズ規約として制定する作業に取り組んでいる神戸大学大学院経営学研究科國部克彦教授をプロジェクトリーダーとして、環境配慮型製品開発について検討を行っています。

### プロジェクトI

主宰者である加登が、現在私たちが直面している経営問題について話題を提供し、意見交換を行いました。後半は、伊丹敬之『エセ理詰め経営の嘘』（日経プレミアシリーズ（73）、2010年）を素材にして、アジア経済、アメリカ経済、日本企業の経営課題について熱い議論を行っています。